

令和3年9月21日

令和3年都道府県地価調査に関するコメント

住友不動産株式会社
代表取締役社長 仁島 浩順

ワクチン接種が進展し、コロナ禍からの脱却期待が高まる一方で、デルタ株の蔓延により感染再拡大の懸念が拭えず、経済正常化への道筋が見通しにくい情勢が続いている。

こうした中、商業地の地価は概ね横ばい圏で推移、人流や移動の制限によりホテルや飲食店舗などの需要が引き続き低迷したものの、業績堅調な企業の新規需要もあり、オフィスビルの市況悪化は小幅にとどまっている。

一方、住宅地は低金利などを支えに、都心や郊外駅前など利便性に優れた地域を中心に需要が堅調で、上昇に転じた地点が増加した。

以上